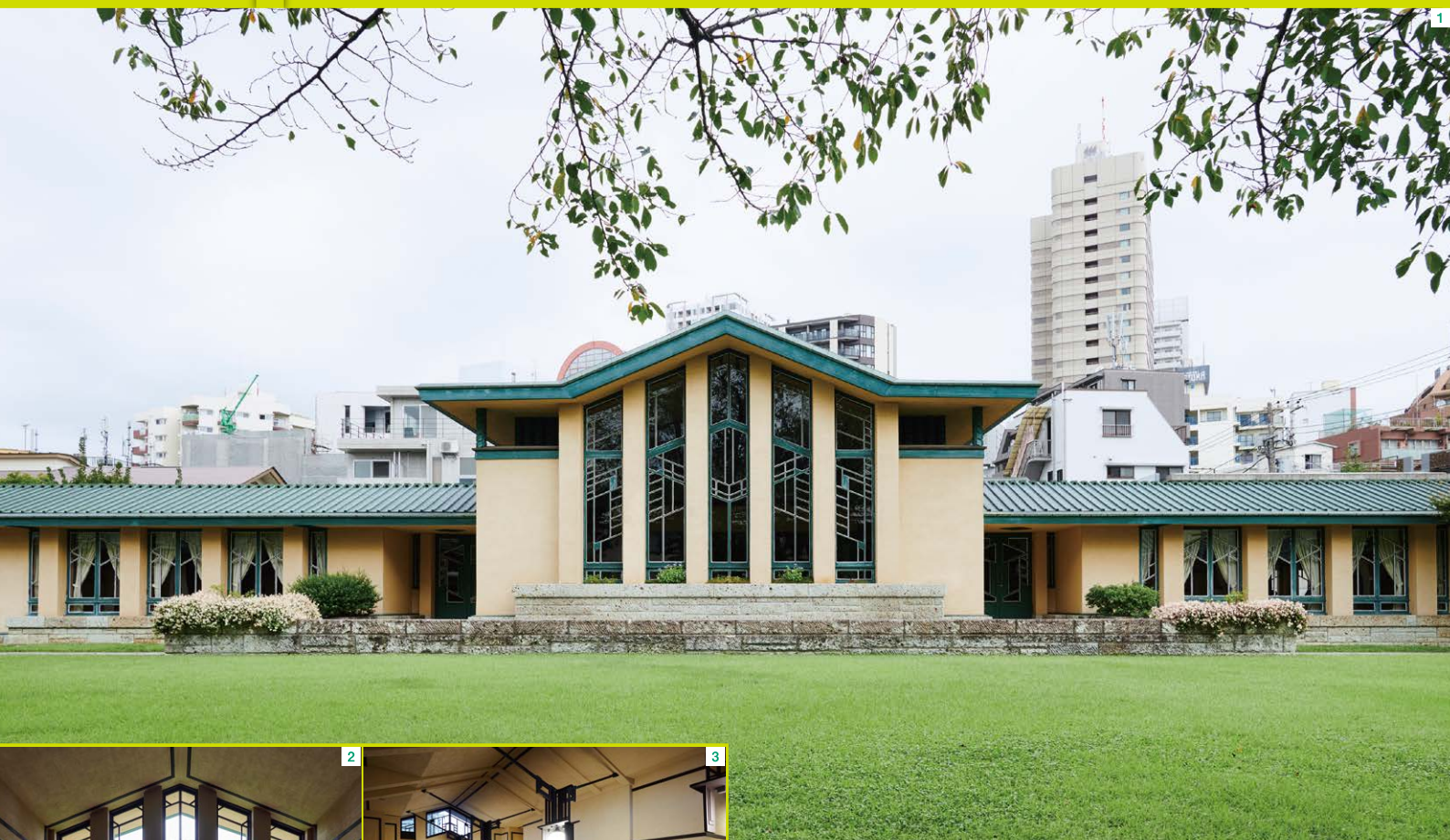


# 木耐協 マンスリーレポート

2026.5  
vol.  
329



1. 外観。シンメトリーで高さを抑えて水平線を強調。屋根は当初の銅板に復原された
2. ホールの大きな窓。建物全体の意匠を幾何学模様にとめることで、高価な材を使わずに工費を低く抑え、かつユニークな空間構成を実現している
3. 食堂。全校生徒が集まり昼食を取った場所で、当時の学校建築には珍しく建物中央に設計された

特集

## できていますか？

## 職場の防災対策

### 今号の表紙

自由学園明日館（東京都豊島区／重要文化財）は、自由学園の創立時の校舎として、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトと弟子の遠藤 新によって設計されました（1922年～1927年竣工）。1999年から約3年かけて中央棟と東西教室棟、また2015年から約3年かけて講堂の耐震補強・保存修理工事が行われ、竣工当時の姿に復原。現在、建物見学の他、結婚式・生涯学習・コンサート等に利用され「動態保存」の先駆事例にもなっています。

写真提供・URL：自由学園明日館  
<https://jiyu.jp/>



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



- ① 耐震性を確認する  
木耐協組合員様などの問題ないかと思いが、住宅と同様、耐震化されている事が重要です。
- ② 転倒・落下・移動防止対策を行う  
近年の地震による負傷者の30〜50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。人が下敷きにならない、避難路をふさがない什器・物品などの配置を考え、転倒・落下・移動防止対策を進めましょう。
- ③ 消火器・防災設備・AEDの場所を確認  
職場の内外にある、消火器・防災設備・AEDを確認しましょう。  
※簡単な平面図に設備の場所を書き込むのもよい

| 項目       | 対策内容                                              |
|----------|---------------------------------------------------|
| 出入口・避難経路 | 進路をふさぐような場所に物を置かない                                |
| デスク周り    | パソコンは粘着マットなどでデスクに固定。デスク同士も連結金具で固定                 |
| 壁面収納     | L型金具で固定、扉などをラッチ式にする。上下の収納は連結金具でつなぐ。落下しやすい物を上に載せない |
| コピー機・複合機 | アジャスターを使用する。ベルトで壁面に固定                             |
| パーテーション  | 「H型」「コの字型」に配置。床・壁に固定                              |
| 掲示板      | 落下防止のためL型金具で固定                                    |
| 窓ガラス     | ガラス飛散防止フィルムを貼る。ガラスの前に倒れやすい物を置かない                  |

## 2

### 職場の建物、設備を確認

## 特集

# できていますか？ 職場の防災対策



## 組合員さまご自身の職場の 防災対策は、万全でしょうか？

これまで、住宅の耐震化や地域の防災をテーマに特集してきましたが、地震や台風などによる災害は、職場にも襲い掛かります。今回は、従業員が長く滞在する職場の防災対策について、ご紹介します。職場の防災対策は範囲が広く、多忙で行うのは難しいかもしれませんが、まずは周りを見直して危険な所がないか確認するなど、できることから進めてみませんか。 文：瀧美寿子

### 職場にいる際に災害が発生した場合の基本的考え方

そして、**共助** ← **まず、自助**  
可能なら近隣のお客様・地域を助ける  
自分たち（従業員）の命を守り、職場を守る

### 災害時の優先事項

**生命** > **身体** > **財産**

突然やってくる災害、まずは自分たち（従業員）の安全を確保しましょう！

## ① 発災直後に従業員の身を守るための備品を準備

### 従業員の身を守るための備品

- ☐ ヘルメット ☐ マスク
- ☐ 軍手 ☐ 懐中電灯
- ☐ 厚底の靴（運動靴）

## ② 事務所に滞在する場合に備え、備蓄品を用意

### 備蓄品の目安

3日分の備蓄量の目安  
（一人分）

### 水

1日3ℓ、計9ℓ

### 主食

1日3食、計9食

### 毛布

1枚

簡易トイレ、衛生用品、敷物なども必要。女性向けの生理用品も備えておくもよい。  
気候によって、携帯カイロ、冷却材、乾電池式の冷暖房器具もあるとよい。

ライフラインが止まるなかで事務所に滞在する場合に備え最低3日分を用意しましょう！

## 4

### 職場内の備品を確認

### 確認チェックリスト

#### 職場内にいる従業員は…

- ☐ 従業員の安否を集約する人（責任者）を決める
- ☐ 行動予定表等で職場内外にいるべき人を把握。職場内にいる人や安否確認が取れた人を照合する
- ☐ 職場内に負傷者がいないか確認する

#### 外出先にいる従業員は…

- ☐ 電話（固定電話・携帯）・メールアドレスなど、非常用の連絡網を用意しておく。自身の安否を職場に知らせる

従業員の家族間の連絡手段としては以下を活用しましょう

- 災害用伝言ダイヤル（171）
- 災害用伝言版サービス（WEB171）

※従業員同士の安否確認にも利用可能ですが、一つの電話番号ごとに登録できるメッセージ数が限られるので注意。

発災時、救出・救助の要否を確認するため職場内外での速やかな安否確認が必要です。ポイントは、**連絡がない人（取れない人）**を把握することです。そのためには平時から従業員間の安否確認方法を決め、安否を確実に連絡できるよう訓練をしておきます。

## 3

### 発災時の連絡方法・安否確認方法を確認

### 危険度チェックリスト

#### わたしたちの職場は…

##### 浸水想定区域内に

- ☐ ある → 避難場所・浸水深を確認
- ☐ ない → 地区内に留まる

##### 土砂災害警戒区域内に

- ☐ ある → 避難場所を確認
- ☐ ない → 地区内に留まる

##### 液状化の可能性が

- ☐ ある → 業務継続への影響を確認
- ☐ 低い → 業務継続と地域復旧への協力を検討

##### 周辺は…

- ☐ 繁華街・オフィス街 → 帰宅困難者への手助けが必要になるかも
- ☐ 住宅街 → 地域の災害初動対応（救出救助活動・避難誘導など）の担い手になるかも

## ② 「危険度チェックリスト」で確認



ハザードマップとは、被害想定区域や避難場所、避難経路などの情報を表示した地図のことです。  
以下から、地域のハザードマップを確認しましょう。

### ハザードマップポータルサイト （国土交通省）



<https://disaportal.gsi.go.jp/>

地域の特徴や災害種別のリスクを把握することが重要です！

## 1

### 自社のある地域の災害リスクを知る

そして、近隣のお客様や  
地域にできる支援も考えましょう

自社の備えが終わったら、近隣のお客様・地域に必要な支援も考えていきます。職場の規模によって対応できることは異なりますが、地域工務店は、過去の被災でもブルーシートで屋根を簡易的に覆う応急処置を行うなど、重要な役割を果たしています。できることを考えましょう。



| 応急対応      | 住家被害の応急処置  | 救助・救命活動    |
|-----------|------------|------------|
|           | 初期消火       | 等          |
| 物資・資器材の提供 | 水・食料       | 簡易トイレ・衛生用品 |
|           | 車両、発電機、テント | 等          |

二次災害から地域を守る

### 応急危険度判定士

建物の倒壊や部材の落下など、二次災害を防止するため、建物の危険度を迅速に判定する建築技術者。建築士が講習修了・登録でなることが可能です。

※り災証明書を発行するための「被災度区分判定」とは異なります

想像力を働かせて、  
自社の防災を  
考えてみましょう

職場の防災対策は、代表者や総務だけで行うものではありません。従業員の皆様で「災害が起こったら職場はどうなるか？」という想像をめぐらすことで具体的に必要なが見えてきます。特に安否確認は全従業員の協力が不可欠です。従業員の防災意識の向上がお客様や地域まで広がると、会社の信頼力アップにもつながるのではないのでしょうか。

#### 近隣住民への配布ツールとして以下を用意しています！

#### まもりとそなえ

毎月版下データ発行（有料）。会社の名入れは無料

#### 参考書籍

#### 東京事業所防災実践マニュアル

（2025/東京都）

都以外の地域でも役立つ内容です

## News & Topics

### ■（一社）住宅リフォーム推進協議会、「住まいの防犯リフォームガイド」刊行

（一社）住宅リフォーム推進協議会は、既存住宅における効果的な防犯リフォームや、防犯意識を高めるための住まい方などの対策を整理したガイドブックを刊行しました。背表紙に「信頼のおけるリフォーム事業者を探すには」として住宅リフォーム事業者団体が紹介されています。ぜひ、お客様にもご案内しましょう。

#### 「住まいの防犯リフォームガイド」

（住宅リフォーム推進協議会HP内）

<https://www.j-reform.com/publish/pdf/bohan-reform26b.pdf>



## 木耐協 あ・れ・こ・れ 寄稿

# ご存知ですか？ 技術向上委員会 20年以上にわたるその実態に迫る！

### 「技術向上委員会」とは

技術向上委員会は、耐震診断の実績豊富な組合員・顧問・事務局員で構成される委員会です。木耐協の創業直後に発足し、二十年以上にわたり、多くの方々に支えられ歩んできました。現在は村田設計事務所 村田社長に委員長として会をリードしていただき、組合員の皆様の「技術力向上」を使命として、毎回熱い議論が交わされています。

テーマは耐震に留まらず、補助金、最新工法、省エネ・断熱技術など多岐にわたります。昨年（2025年）は、主に以下のテーマについて議論を深めました。

- #### 2025年のテーマ

  - 耐震シェルター工法の活用
  - 4号特例縮小に伴う「既存建築物の現況調査ガイドライン」への対応
  - 精密診断への対応方法
  - 断熱建材や基礎工法など各メーカーからの提案の検討
  - 新たに耐震事業に取り組む組合員様へのフォローアップ
  - 生成AIツールと耐震事業



### 今年のメインテーマは「2025年改訂版」

今年の最大のテーマは、2月に公表された『2025年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法』への対応です。すでに3月の委員会から議論をスタートさせており、現地調査票の変更点や、一般診断法・精密診断法の位置づけ、実業務での対応方法などについて検討を重ねています。

これらの議論を踏まえて各種マニュアルやツールを整備し、秋口には組合員の皆様に向けた研修会を開催する予定です。委員一同、皆様のお役に立てるよう尽力しておりますので、どうぞご期待ください。

## 日々耐震に 向き合っている 技術向上委員会 メンバー！

|                                               |                            |                            |
|-----------------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <p>技術向上委員会 委員長<br/>株式会社 村田設計事務所<br/>村田 隆氏</p> | <p>中澤守正 顧問</p>             | <p>鈴木芳郎 顧問</p>             |
| <p>安心ホーム計画 株式会社<br/>阿部 誠氏</p>                 | <p>株式会社 市原建設<br/>市原 卓氏</p> | <p>エイム 株式会社<br/>駒井隆弘氏</p>  |
|                                               |                            | <p>株式会社 光栄建設<br/>田中崇浩氏</p> |

組合員の皆様から寄せられる耐震に関するご質問も、本委員会に諮り、専門的な知見から回答させてい

ただいております。耐震についてのお悩みや疑問がございましたら、ぜひお気軽に事務局までご相談ください！

これからの  
工務店は  
営業しない！

# 相続相談から始まる 新たな受注戦略

## 第9回

### 「相続の相談窓口」を 名乗るだけで 相談が増える？

▼ 名刺と看板のアップデート

今の日本は、人口減少が進む一方で高齢化が加速しています。特に50代以上はすでに人口の半分以上を占めており、今後も相続に関わる人は確実に増えていきます。また、年間の死亡者数も160万人を超えており、その数だけ相続手続きが発生しているのが実情です。さらに、遺産分割をめぐるトラブルも日常的に起きています。

つまり、**相続に関して何かしらの悩みや不安を抱えている人は、想像以上に多い**ということです。「誰かに相談したい」「話を聞いてほしい」「どうすればいいかわからない」といった声は、実は身近なところにたくさんあります。こうした状況だからこそ、難しく考える必要はありません。名刺や看板、ホームページに「相続の

相談ができます」と書いておくだけで、「実は先日叔母が亡くなった……」や「ちよつと聞いてもいいですか?」と声がかかることもあります。このように特別な営業をしなくても、相談は自然と集まってくる時代です。また、相続財産の約半分は不動産と言われています。不動産と相続は非常に相性が良く、相談からそのまま本業につながるケースも少なくありません。「空き家売りたい」「実家を直したい」「アパートをリフォームしたい」こうした相談は、すべて仕事の入口になります。まずは、「**相談できる存在であること**」を伝えること。これがす

べてのスタートです。難しく考えず、名刺や看板などの身近なツールで意思表示をしてみてください。その少しの工夫と一歩踏み出す行動が、今後の結果を大きく変えるはずです。周囲に見せることから始めてみましょう。



#### プロフィール

株式会社デザインライフ  
代表取締役 杉村洋介

岡山県出身。26歳で保険代理店「デザインライフ」を設立後、2015年より相続コンサルタント事業を開始。年間約500件の相続相談に対応し、遺言・信託・相続税・登記・保険・不動産など幅広くサポート。現在は全国の相続専門育成にも携わる。

Tel 0120-009-422  
E-mail dl-consultant@design-life.jp  
Webサイト https://design-life.jp  
住所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今3-9-12

2026年  
5  
月号

耐震診断・補強の疑問・質問にお答えします！

鈴木  
顧問の技術通信



鈴木芳郎 千葉県生まれ。1級建築士。  
2024年に木耐協技術顧問に就任し、  
研修会講師を担当。以前、執行役員を  
務めていた会社で工務店経営コンサルや  
商品開発支援、仮設住宅建設に尽力。

#### 今月のテーマ

### 2025年版 「木造住宅の耐震診断と 補強方法」 2012年版との主な違い①

日本のエネルギー政策は戦前から海外依存が続いており、昨今の中東情勢を鑑みても化石燃料中心の構造からの脱却は急務です。原油価格の変動はガソリン価格やエネルギー供給のみならず、原油を原料とする断熱材等の建築資材の高騰というリスクが、私たちの経営を直撃しています。住宅会社が社会に貢献できる道は、省エネ化や太陽光発電・蓄電機能の提供ではないでしょうか。私自身もその範を示すべく、2年前に築35年の自宅を耐震・断熱改修し、太陽光発電を搭載しました。自宅で蓄積したこれらのノウハウは見学会を通じて公開しています。地域の安心と資材リスクへの耐性を両立させる、新しい建築業の姿を共に模索していきましょう。

#### テーマ 2012年版と2025年版の違い①

##### 変更点1 判定表現「一応倒壊しない」の見直し

上部構造評点の判定表現が改められ、曖昧な「**一応**」が廃止されて「**倒壊する可能性が低い**」となりました。  
1.0以上でも「倒壊しない」と言い切らないのは、一般診断

では全ての構造要素を把握しきれず、新築住宅と全く同じ性能とは断言できないためです(2025年版基準編p.73)。この2012年版から続くこの基本思想は抑えておきましょう。

| 旧<br>2012<br>年版 | 上部構造評点      | 判定         |
|-----------------|-------------|------------|
|                 | 1.5以上       | 倒壊しない      |
|                 | 1.0以上～1.5未満 | 一応倒壊しない    |
|                 | 0.7以上～1.0未満 | 倒壊する可能性がある |
|                 | 0.7未満       | 倒壊する可能性が高い |

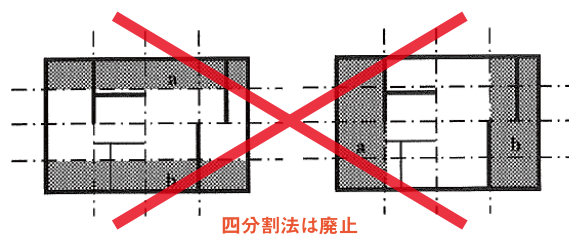
| 新<br>2025<br>年版 | 上部構造評点      | 判定         |
|-----------------|-------------|------------|
|                 | 1.5以上       | 倒壊しない      |
|                 | 1.0以上～1.5未満 | 倒壊する可能性が低い |
|                 | 0.7以上～1.0未満 | 倒壊する可能性がある |
|                 | 0.7未満       | 倒壊する可能性が高い |

##### 変更点2 「四分割法」を廃止し、偏心率に統一。また、「短辺割増係数」も廃止

実態に即した「偏心率」への一本化

新築向けの「四分割法」は比較的健全な建物を想定していますが、既存建物は平面計画上、偏心(バランスの偏り)が大きい傾向にあります。また、建物の平面規模や形状(アスペクト比)に応じ、床や屋根などの水平構面の影響を考慮するため、一般診断法においても**四分割法を廃止し、より実態を正確に反映できる「偏心率」による評価に一本化**されました。

法に合わせて「建物重量の精算を基本とする」方針となったことに伴い、「**短辺割増係数(短辺4m未満の割増など)**」の規定が**削除**されました。他にも同様の変更が実施されておりますので今後順次ご説明します。



##### 短辺割増係数の削除

今回の改訂は2025年4月に施行された改正建築基準法との整合性を重視している点も大きな特徴です。改正建築基準

技術的なご相談はこちらへ！

Mail mts@mokutaikyo.com

Tel 03-6261-2040 (木耐協事務局)

# 経営基礎講座

PDCAを正しく使っていますか？

新しい年度のスタートに当たり、様々な計画や施策に取り組み、進め、成果を出すためにPDCAがあります。

P=Plan（計画）、D=Do（実行）、C=Check（振り返り）、A=Action（改善して行動）という意味です。具体的な業務に落とし込んで説明すると、P（計画）何をやるか決める」「今月はチラシで10件見積依頼を獲得する」、D（実行）とにかくやる」「チラシを配る」、C（振り返り）うまくいったか確認する」「見積もりが何件獲得

できたかチェック」、A（改善して行動）次にどう行動するか決める」「10件以上獲得」「このチラシを定番にする」「5件獲得」「掲載商品や配布方法などを改善してもう一度配布する」「0件で終了」「チラシではない方法を検討する」という感じになります。

PD-PPDに陥らないで！

上記の事例から、大事なことはCとDだということがお分かりだと思います。PDを行ってもすぐに成果が出ることは少ないでしょう。その時に新たなPDに取り組み、PD-PPDに陥りやすくなります。成果を正確に丁寧

## プロフィール



### 石原直之

1989年に新卒でホームイング（現ミサワリフォーム）に入社。1992年ホームテック（東京都、売上65億）創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

## 第3回 仕事のPDCAはやっぱり大切

# Check（振り返り）の習慣化で成長が早まる！

にCheck（振り返り）して、その結果によって「そのまま継続」「改善して継続」「対策を中止」のように次のAction（改善して行動）を決定します。成果が早く欲しいならこのPDCAサイクルを高速で回転させることです。PDCAが習慣化されるとやりっぱなしの仕事が減り、自社の成功パターンが蓄積され失敗が減っていきます。うまく行った時もそうでない時も、仕事の質を上げ、社員の成長を早めるのは特にCheck（振り返り）の習慣化が一番重要です。

# 事務局長が行ってきました！

不定期連載  
No.22

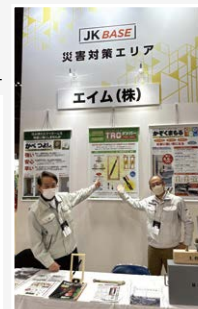
木耐協事務局の日頃の活動を、時々皆様にお届けします

## 第46回ジャパン建材フェアに行ってきました

2月12日（木）～13日（金）に東京ビッグサイト東展示棟4～6ホールで開催された住宅建材総合展示即売会、「第46回ジャパン建材フェア」に行っていました。広い会場は、災害対策・断熱／省エネ・リノベーションなど様々なテーマに分けられており、参加者が回遊しやすい展示会でした。木耐協のメーカー賛助会員や連携企業も出展されており、組合員様も来場されていました。



▼入口の様子



▲メーカー賛助会員のエイムブース

## 住宅リフォーム事業者団体登録制度 連絡会議に参加しました

2014年に創設され、現在は16の団体が登録している「住宅リフォーム事業者団体登録制度」では、毎年2回程度の連絡会議を行っています。会議には各団体の他、国土交通省・住宅リフォーム推進協議会・住宅瑕疵担保責任保険協会も参加し、制度の認知度向上やリフォーム瑕疵保険の活用をいかに進めるか等について議論しています。

2月9日（月）の会議では、制度全体としての動きを強化するために4月から「住宅リフォーム事業者登録団体協議会」を設ける事となり、その概要についても打ち合わせを行いました。今後は協議会として制度の活性化を図っていきます。

## TOPPAN

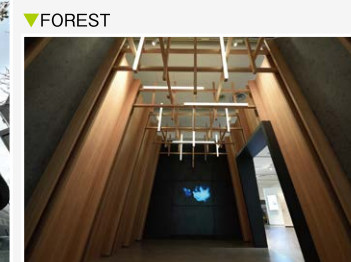
### 新ショールームを見学しました

メーカー賛助会員「TOPPAN株式会社」様では、2024年8月に真夏のセミナーで訪れた秋葉原のビルが建て替えとなり、文京区の本社に新しいショールーム「FOREST」が完成したため見学に行っていました。最先端の技術で様々な建築材を印刷している同社の実績やノウハウ、トレンドと今後の生活空間を踏まえたデザインなどが分かる、素晴らしいショールームでした。

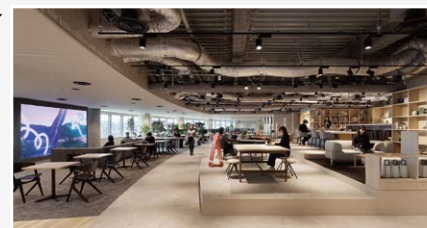
また、オフィス等の空間を演出するブランド「expace（エクスペース）」のモデルケースである、同社環境デザイン事業部のオフィスも見学しました。



▲TOPPAN本社ビル



▼FOREST



▶expace

photo by DAISUKE SHIMA

## 木耐協第28期通常総会を開催しました

3月26日（木）に東京駅八重洲地下街にある八重洲倶楽部貸会議室で、木耐協第28期通常総会を開催いたしました。皆様に3月上旬にお送りした総会資料に基づいて、第27期の事業報告および決算報告、第28期の事業計画および予算計画を発表し、承認を頂きました。

また、役員の改選も行われ、理事6名・監事1名の新役員も決定いたしました（詳細は11ページをご覧ください）。今期もしっかりと組合運営を進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



▲総会の様子



### 木耐協事務局長 関 励介

2002年から木耐協で組合運営・対外折衝・セミナー等を実施。ついに今年から花粉症の薬を飲み始めたが、その効果は良く分かっていない。

今後も様々な動きをお知らせしますので、ご期待ください！

## 日本人の心を震わせるノンフィクション



166 冊目

大統領に告ぐ  
硫黄島から  
ルースベルトに与ふる書

著者／門田隆将  
発行／産経新聞出版  
価格／1,700円(税別)



昭和20年8月に戦争が終わる約1年前(19年7月)にサイパン島が陥落したことにより、アメリカのB29による日本全国に対する無差別爆撃が連日行われるようになりました。そんな中、日本にとっては国防のための太平洋の最後の砦として、また、アメリカにとっては日本攻撃の重要な拠点として、硫黄島は日米が雌雄を決する重要な拠点となりました。その硫黄島を守り抜くと昭和19年6月に着任した陸軍の栗林中将以下陸軍1万8千人、海軍の市丸少将以下海軍3千人(合計2万1千人)が入島しました。ほぼ平地で、遮蔽物のない島で敵軍を迎え撃つには地下壕を掘る以外に手はなく、昭和20年2月にアメリカ軍が上陸を開始する頃には、殆ど人力でありながら総延長20キロに亘る地下壕が完成していました。上陸を開始する直前、アメリカ軍の指揮を執ったスミス中将が「5日で落とす」と豪語していた上陸

作戦ですが、結果的に1か月以上かかり、その間、日本人の守備隊の95%にあたる2万人近くが戦死し、アメリカ軍も上陸した11万人のうち7千人近い兵士が亡くなりました。さて、本題のこの「ルースベルトに与ふる書(手紙)」は、海軍トップの市丸少将によって書かれ、弱冠21歳のハワイ出身の兵曹によって品格ある英文に翻訳され、腹に巻いて突撃するという形で届けた参謀の3人(全員戦死)を中心に描かれています。手紙には、現代に生きる私たちへの教訓と、奥深い教養と、そして、ただ頭を垂れるしかない勇気がちりばめられています。この出来事は日本人にはあまり伝わっていませんが、アメリカではとても有名な話だと聞き、残念な気持ちになりました。先人の犠牲の上に今があり、私たちが如何に恵まれているかを思い知らされる、貴重な読書体験でした。

今号の理事長オススメはこの一冊！  
『大統領に告ぐ 硫黄島からルースベルトに与ふる書』



## 事務局通信

### 編集後記

今年は全国的に震度3以上が頻発していると感じ、気象庁の「震度データベース」で昨年と比較してみました。1月1日～3月31日の3ヶ月間で、2025年は震度3が42回／震度4が6回／震度5弱以上が2回なのに対し、2026年はそれぞれ60回／13回／2回と中規模地震がほぼ倍の回数、全国的に発生しています。おそらく消費者は「地震が多い」と感じているのではないのでしょうか。巨大地震はいつどこで起きても不思議ではありません。ぜひ地域で耐震化の案内を行いましょう！(関)

### 第28期通常総会を開催しました

書面議決書等を返信いただき、誠にありがとうございました。3月26日(木)に、八重洲倶楽部 貸会議室にて「木耐協 第28期通常総会」を開催いたしました。総会議事(2025年度決算・事業報告／2026年度予算・事業計画)について、ご承認いただきました。



▲総会に出席された  
2026年度役員・顧問の皆様

| 役員／顧問 | 法人名・役職        | 氏名          |
|-------|---------------|-------------|
| 理事長   | エイム 株式会社      | 代表取締役 小野 秀男 |
| 理事    | 太豊建設 株式会社     | 代表取締役 岡井 徹博 |
|       | 株式会社 アットホーム四国 | 代表取締役 北村 憲司 |
|       | 株式会社 スイコー     | 代表取締役 澤口 司  |
|       | 株式会社 空設計      | 代表取締役 平山 郁夫 |
|       | 株式会社 しんにち不動産  | 代表取締役 細野 幹雄 |
| 監事    | 高城税理士事務所      | 税理士 大山 志乃武  |
| 顧問    |               | 中澤 守正       |
| 技術顧問  |               | 鈴木 芳郎       |



発行 ● 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子

所 在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041

## 木耐協メーカー賛助会員様からのご案内



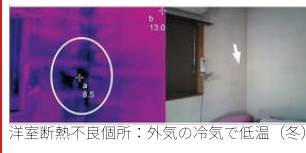
## eラーニング講座 赤外線建物診断アドバイザー

お申し込みはこちらから

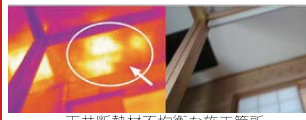


<https://propeller.valed.jp/application01>

### 断熱状態診断・気密性状態の可視化

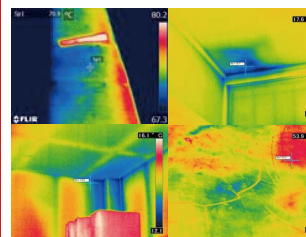


洋室断熱不良箇所：外気の冷気で低温(冬)



天井断熱材不均衡な施工箇所

### 水分侵入状況を赤外線により可視化



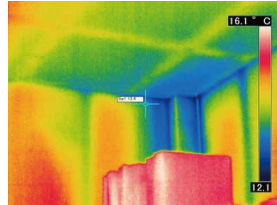
目視では把握しにくい雨水滞留状況が視覚的に確認できる。

簡易診断、建物状況調査、営業提案等の赤外線建物診断の簡易基礎技術をレベルを学びたい方向け！

### ■赤外線建物診断とは？

赤外線建物診断とは、建物診断をより効率的に細部までチェックできるように、赤外線技術を取り入れた診断方法です。

そもそも従来の建物診断は、打診棒や触診・目視などの診断方法を取り、更にはしごや脚立を用いたり、大掛かりな足場を組んだり、高所作業車を使用したりする必要があり、コストも時間もかかってしまう傾向がありました。



また立地によってはどうしても作業者が入れない、足場が組めない等、物理的な限界も問題の一つでした。

### ■赤外線建物診断アドバイザーとは？

雨漏りなどのトラブルを解決するために赤外線建物診断の基礎知識を習得し、簡易な診断(雨漏り室内点検、断熱点検等)を実施できること、また、詳細診断を赤外線建物診断技能師に委託する体制が構築できることによりお客様の信頼を確保できることを証明する認定試験となります。

アドバイザーは直接診断は行いませんが、実際の窓口活動や営業活動などをするうえで、最低限必要な知識を持つ証として大きな意味があります。

### ■赤外線建物診断アドバイザーは以下の知識習得が目的です

- 提案時の知識習得
- アフター点検の知識習得
- 一次インスペクションの知識習得
- 営業活動に必要な知識習得

【赤外線建物診断アドバイザー 資格発行元】  
一般社団法人 街と暮らし環境再生機構 メール：info@ters.or.jp

### 赤外線技術の結露調査への活用。赤外線サーモグラフィで断熱不具合を可視化する



- リフォーム会社
  1. 結露、カビを改善する、健康リフォームが提案できる
  2. リフォーム物件の結露、カビクレームの予防、リスクヘッジ
  3. 結露、カビクレーム対応の費用と時間が節約でき、精神的ストレスも軽減
  4. 結露に対する知識が身につく、社員の育成に
  5. 顧客からの信頼獲得

- 調査会社・インスペクター
  1. 建物診断の専門性と信頼性が増し、より幅広い調査依頼を受けられる
  2. 結露、カビを予防した暮らし方の提案ができる
  3. 発生している結露、カビの原因の推測提言ができる

### 診断士の特典

- ① 新しいパターンの結露物件の情報を共有
- ② 無料の結露定常計算ソフトの紹介
- ③ 結露の非定常計算会社の紹介
- ④ 結露の非定常計算ソフトの紹介
- ⑤ 結露診断商品・結露対策商品の紹介
- ⑥ 自社物件の環境調査の支援(有料)
- ⑦ 結露診断の同行調査指導(有料)

【結露診断士 資格発行元】 一般社団法人 街と暮らし環境再生機構  
担当：結露診断士技術顧問(株式会社サーモアドベンチャー 代表取締役兼務) 高橋義則  
メール：ketsuro-shindan@ters.or.jp



〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通4丁目5番3号  
Phone：044-201-7411  
E-mail：info@ters.or.jp <http://www.ters.or.jp>



## eラーニング講座 結露診断士

お申し込みはこちらから



<https://ters.jp>

# 組 合 員 さ ん

## こ ん に ち は !

事務局員がおじゃまします

### 栄建築株式会社様

兵庫県赤穂市



▲HPで「栄建築は職人の会社」とPR



◀ 築200年以上の古民家について解説されている井上社長



◀ 特許も取得されている「ハニカム工法」

▼ 小学生向け「ちびっこ棟梁体験」



### 自ら考え動く 「真の職人」を育てる

兵庫県赤穂市を拠点とする栄建築。井上社長は、自身が親方の厳しい指導を受けて一人前に育った経験から、「現代の風潮に迎合せず、次世代に確かな腕と人間力を継承したい」という強い使命感を抱いています。

その情熱は、「自ら考え行動できる本物の職人」の育成に注がれています。特にリフォーム工事では不測の事態への対応力が求められる

るため、指示待ちではなく、自ら判断できる技術と経験が不可欠からです。井上社長のもとで育った腕利きの大工たちの存在こそが、「栄建築は職人の会社です」という同社のキャッチコピーを体現しています。

### 特許を取得した 独自工法で差別化

同社の特許工法である「SK工法」と「ハニカム工法」は、被災住宅の調査で目の当たりにした釘の経年劣化対策として誕生しました。標準採用する「ハニカム工法」は、釘を一切使わず蜂の巣状に木材を組む六角構造で地震エネルギーを分散し、繰り返し揺れに耐えます。高い施工精度を要する独自工法の実践が、大工たちの腕の確かさを証明しています。

### 次世代へつなぐ 木造建築と職人の魅力

OB顧客向けイベント内で開催される「ちびっこ棟梁体験」では

丸太切りや墨付け、建て方を通じ、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えていきます。これは「原体験を持つ子が将来、当社を選んでくれるかもしれない」という長期的な視点に基づく井上社長の考えから始められたそうです。

また、大学からの依頼で国内外の学生へ築200年以上の古民家の構造について解説されるなど、若者への伝統技術の伝承にも積極的です。「大工は技術を売る仕事。家を売って終わりではなく、その後の生活まで責任を持つのが醍醐味」と語る井上社長。その信念のもと、今日も安全で安心な家づくりに取り組んでいます。

職人育成の情熱や特許工法の背景から、技術力への誇りと強みが伝わりました。次世代へ技術を継承する真摯な姿勢こそが、地域の厚い信頼に繋がっていると感じます。

事務局：伊藤

